
「ロボット支援下前立腺全摘術における急性腎障害リスク因子の検討：後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年10月1日から2024年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターにてロボット支援下前立腺全摘術を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ロボット支援下前立腺全摘術直後に腎機能障害を反映するクレアチニンという数値が術前より上昇するという現象が見られます。この原因はいまだ解明されておらず、実際に腎機能が悪くなっていない可能性もあります。今回の研究の目的は、この手術において手術を行うための気腹操作（二酸化炭素を手術部位に流して圧をかけること）や体を25度頭を下にして傾ける操作が腎臓に血液を回りにくくして実際に腎機能障害を起こしているのではないかという仮説を検証することです。そのために過去の診療録を調査させていただきます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年8月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 情報の内容

研究対象者の背景：年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、身長、体重、BMI、薬歴

生理学的検査値：心電図検査、心臓超音波検査、呼吸機能検査

血液検査値：血算、凝固検査、生化学検査

術中麻酔記録：術中の平均血圧データ、投薬データ、輸液量、尿量、出血量、手術・麻酔時間、コンソール（ロボットを使用して手術をしている）時間、ロールイン～ロールアウト（気腹操

作と頭を下げる操作の両方を行う)の時間

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である加藤崇央が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

ロボット支援下前立腺全的術を受けた患者さんの検査を実施した際の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

- ・埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 加藤 崇央(研究代表者)
- ・埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 大久保 訓秀
- ・埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 岡田 啓
- ・埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 下野 咲季子
- ・埼玉医科大学 リサーチアドミニストレーションセンター 大澤 麻衣子
- ・埼玉医科大学 リサーチアドミニストレーションセンター 仕子 優樹
- ・埼玉医科大学 リサーチアドミニストレーションセンター 川崎 洋平
- ・埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 小山 薫
- ・埼玉医科大学 学生(M19037) 伍賀 誠一郎
- ・埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 竹下 英毅
- ・埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 矢野 晶大

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 加藤崇央

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3654(土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：ロボット支援下前立腺全摘術における急性腎障害リスク因子の検討：後方視的観察研究

○研究責任(代表)者：埼玉医科大学総合医療センター 麻酔科 加藤崇央